



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼経営執行役員社長 Group C00 (氏名) 津久井 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO

(氏名) 高田 寿子

TEL 03-3214-7500

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	367,473	39.3	189,990	53.3	234,082	92.9	174,780	93.8	174,780	93.8	301,822	213.2
2026年3月期第1四半期	263,776	90.1	123,952	295.7	121,357	280.1	90,180	277.7	90,180	277.7	96,381	150.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	241.27	239.89
2026年3月期第1四半期	123.14	122.80

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,514,652	1,042,642	1,042,642	68.8
2026年3月期	1,171,816	795,726	795,726	67.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	29.00	-	30.00	59.00
2027年3月期	-	-	-	-	-
2027年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,714,000	51.9	846,000	69.5	891,000	72.4	660,000	75.8	660,000	75.8	911.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

詳細については、添付P.3「(4) 今後の見通し」及び本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」は、2026年6月30日現在の「期末発行済株式数(自己株式を含む)」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。

詳細な株式数は、※注記事項 (3) 発行済株式数(普通株式)をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更: 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	732,000,000株	2026年3月期	732,000,000株
2027年3月期1Q	8,033,510株	2026年3月期	6,484,224株
2027年3月期1Q	724,402,054株	2026年3月期1Q	732,364,731株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー: 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積り及び予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)の状況

(単位:億円)

	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	2027年3月期 第1四半期連結累計期間	対前年同期増減率
売上高	2,638	3,675	39.3%
営業利益	1,240	1,900	53.3%
税引前四半期利益	1,214	2,341	92.9%
四半期利益	902	1,748	93.8%

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国を中心としたAI関連投資の拡大が下支えとなり、全体として底堅さを維持しました。一方で、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクを背景に、先行き不透明感も高まりました。

このような世界経済情勢のもと、半導体市場は力強い成長が続きました。AIの技術競争加速や社会実装の進展を背景に、データセンタ向けのHPC (High Performance Computing) デバイスや高性能メモリ半導体など、AIに関連した半導体が市場成長を牽引しました。

当社グループのビジネスにおいては、AI関連の高性能半導体向けテスト需要が大幅に拡大しました。AI関連の先端半導体の生産数量が増し、複雑化が進む中で、当社グループ製品に対する顧客の積極的な設備投資が継続しました。当社グループは、こうした旺盛なテスト需要にタイムリーに対応すべく、サプライチェーン全体を通して生産能力拡大に努めました。

この結果、売上高は3,675億円(前年同期比39.3%増)となり、増収及び売上ミックスの良化などにより、営業利益は1,900億円(同53.3%増)となりました。また、戦略投資に関連する金融商品の評価益を主な要因として、金融収益約447億円を計上しました。これらにより、税引前四半期利益は2,341億円(同92.9%増)、四半期利益は1,748億円(同93.8%増)となりました。対米ドルでの円安進行も業績へ寄与し、売上高、営業利益、税引前四半期利益及び四半期利益は、いずれも四半期ベースで過去最高を更新しました。当四半期の平均為替レートは、米ドルが159円(前年同期146円)、ユーロが185円(同162円)、海外売上比率は99.1%(前年同期98.6%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

<テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	2027年3月期 第1四半期連結累計期間	対前年同期増減率
売上高	2,406	3,336	38.7%
セグメント利益(△損失)	1,269	1,907	50.3%

当部門では、SoCテストシステムにおいて高性能SoC半導体向けの売上が大幅に増加しました。主に、複雑化するAIやHPC関連半導体の生産数量が拡大したことで、テスト需要が伸長しました。メモリテストシステムにおいても、拡大するデータセンタ投資を背景に、高性能DRAM向けを中心とした製品販売の伸長に加え、不揮発性メモリ向け売上も増加しました。こうしたテスト需要の増加と連動し、デバイスインタフェースやテストハンドラも増収となりました。

以上により、当部門の売上高は3,336億円(前年同期比38.7%増)、セグメント利益は1,907億円(同50.3%増)となりました。

〈サービス他部門〉

(単位:億円)

	2026年3月期 第1四半期連結累計期間	2027年3月期 第1四半期連結累計期間	対前年同期増減率
売上高	232	339	46.0%
セグメント利益(△損失)	27	86	216.4%

当部門では、当社グループ製品の設置台数の増加に伴い、サポート・サービスの売上が伸長しました。加えて、高性能SoC半導体向けのテスト用インタフェースボードなどの消耗品販売も増加しました。なお、前年同期のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益約25億円が含まれています。

以上により、当部門の売上高は339億円(前年同期比46.0%増)、セグメント利益は86億円(同216.4%増)となりました。

(2)財政状態の概況

当第1四半期末の総資産は、営業債権及びその他の債権が502億円減少したものの、投資有価証券が2,898億円、現金及び現金同等物が732億円、棚卸資産が419億円、それぞれ増加したことなどにより、前年度末比3,428億円増加の1兆5,147億円となりました。負債合計は、未払法人所得税が511億円減少したものの、社債が889億円、その他の流動負債が376億円、営業債務及びその他の債務が123億円、それぞれ増加したことなどにより、前年度末比959億円増加の4,720億円となりました。また、資本合計は1兆426億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比0.9ポイント増加の68.8%となりました。

(3)キャッシュ・フローの概況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末より732億円増加し、4,131億円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益2,341億円を計上したことに加え、法人所得税の支払額(△1,011億円)、営業債権及びその他の債権の減少(521億円)、棚卸資産の増加(△413億円)、前受金の増加(370億円)に減価償却費や金融商品評価損益などの非資金項目等の損益を調整した結果、1,372億円の収入(前年同期は、469億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,025億円の支出(前年同期は、34億円の支出)となりました。これは主に、負債性金融商品の取得による支出(△878億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、350億円の収入(前年同期は、310億円の支出)となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入(1,000億円)、自己株式の取得による支出(△422億円)と配当金の支払額(△214億円)によるものであります。

(4)今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境を展望しますと、暦年2026年の半導体市場は、AI関連半導体が引き続き成長を牽引し、1兆ドルを超える規模になると見込まれています。半導体テスト市場においても、AI関連半導体の生産数量の増加及びさらなる複雑化を背景に、過去最大規模になる見通しです。特に推論用AI半導体向けのテスト需要は、当社グループの2026年4月時点の想定を大きく上回ると見込んでいます。市場が急速に成長している中、当社グループの生産能力増強も前倒して進めています。

これらの見通し及び当第1四半期連結累計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を修正します。売上高は2026年4月時点の1兆4,200億円から1兆7,140億円へ、営業利益は6,275億円から8,460億円へ、税引前利益は6,290億円から8,910億円へ、当期利益は4,655億円から6,600億円へ、それぞれ上方修正します。予想の前提とした当連結会計年度第2四半期以降の9か月間の為替レートは、米ドルが150円、ユーロが170円です。

なお、現下の中東情勢による事業及び業績への影響は、物流コストを含む一部のコスト増が見込まれるものの、現時点においては直接的な影響は限定的であると見ています。

一方で、AIへの投資が産業界で拡大する中、メモリ半導体などの主要部品の需要は引き続き供給を上回っています。当社グループは、さらなる成長機会の取り込みに向け、サプライチェーンのレジリエンス強化に引き続き注力してまいります。

当社グループは、外部環境の変化に注意を払い、機敏かつ柔軟に対応するとともに、第3期中期経営計画で掲げた施策を推し進めることで中長期的なステークホルダーへの提供価値拡大に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	339,966	413,124
営業債権及びその他の債権	228,731	178,497
棚卸資産	231,718	273,654
その他の流動資産	35,992	25,539
流動資産合計	836,407	890,814
非流動資産		
有形固定資産	101,628	107,707
使用権資産	19,947	18,981
のれん及び無形資産	84,250	85,751
投資有価証券	67,927	357,737
その他の金融資産	4,022	4,009
繰延税金資産	55,774	47,952
その他の非流動資産	1,861	1,701
非流動資産合計	335,409	623,838
資産合計	1,171,816	1,514,652
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	142,061	154,357
未払法人所得税	112,455	61,370
引当金	15,538	15,984
リース負債	4,966	4,977
その他の金融負債	12,508	17,097
その他の流動負債	42,756	80,397
流動負債合計	330,284	334,182
非流動負債		
社債	-	88,930
リース負債	15,226	14,259
退職給付に係る負債	20,222	20,021
繰延税金負債	6,444	11,179
その他の非流動負債	3,914	3,439
非流動負債合計	45,806	137,828
負債合計	376,090	472,010
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	52,462	61,388
自己株式	△44,372	△86,414
利益剰余金	655,566	816,018
その他の資本の構成要素	99,707	219,287
親会社の所有者に帰属する持分合計	795,726	1,042,642
資本合計	795,726	1,042,642
負債及び資本合計	1,171,816	1,514,652

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	263,776	367,473
売上原価	△92,138	△111,920
売上総利益	171,638	255,553
販売費及び一般管理費	△50,514	△66,247
その他の収益	2,971	796
その他の費用	△143	△112
営業利益	123,952	189,990
金融収益	693	44,680
金融費用	△3,288	△588
税引前四半期利益	121,357	234,082
法人所得税費用	△31,177	△59,302
四半期利益	90,180	174,780
四半期利益の帰属 親会社の所有者	90,180	174,780
1株当たり四半期利益		
基本的	123.14円	241.27円
希薄化後	122.80円	239.89円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	90,180	174,780
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△111	△131
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	5,836	120,229
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	476	6,944
税引後その他の包括利益	6,201	127,042
四半期包括利益	96,381	301,822
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	96,381	301,822

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2025年4月1日 残高	32,363	46,665	△104,193	489,850	41,854	506,539	506,539
四半期利益				90,180		90,180	90,180
その他の包括利益					6,201	6,201	6,201
四半期包括利益	-	-	-	90,180	6,201	96,381	96,381
自己株式の取得			△15,447			△15,447	△15,447
自己株式の処分		△109	699	△235		355	355
配当金				△14,674		△14,674	△14,674
株式に基づく報酬取引		1,063				1,063	1,063
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△111	111	-	-
所有者との取引額等合計	-	954	△14,748	△15,020	111	△28,703	△28,703
2025年6月30日 残高	32,363	47,619	△118,941	565,010	48,166	574,217	574,217

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素		
2026年4月1日 残高	32,363	52,462	△44,372	655,566	99,707	795,726	795,726
四半期利益				174,780		174,780	174,780
その他の包括利益					127,042	127,042	127,042
四半期包括利益	-	-	-	174,780	127,042	301,822	301,822
自己株式の取得		△12	△42,192			△42,204	△42,204
自己株式の処分		△125	150	△25		-	-
配当金				△21,765		△21,765	△21,765
株式に基づく報酬取引		1,351				1,351	1,351
転換社債型新株予約権付社債の発行		7,712				7,712	7,712
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				7,462	△7,462	-	-
所有者との取引額等合計	-	8,926	△42,042	△14,328	△7,462	△54,906	△54,906
2026年6月30日 残高	32,363	61,388	△86,414	816,018	219,287	1,042,642	1,042,642

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	121,357	234,082
減価償却費及び償却費	6,112	7,151
金融商品評価損益(△は益)	-	△41,075
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△11,649	52,128
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,348	△41,346
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△8,752	△407
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,038	444
預り金の増減額(△は減少)	3,526	4,219
前受金の増減額(△は減少)	1,377	36,984
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△273	△275
その他	△7,430	△14,206
小計	106,654	237,699
利息及び配当金の受取額	683	1,171
利息の支払額	△456	△600
法人所得税の支払額	△60,030	△101,115
営業活動によるキャッシュ・フロー計	46,851	137,155
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の取得による支出	-	△26,053
資本性金融商品の売却による収入	-	22,133
負債性金融商品の取得による支出	-	△87,817
有形固定資産の取得による支出	△5,649	△9,852
無形資産の取得による支出	△406	△1,032
事業譲渡による収入	2,902	-
その他	△291	73
投資活動によるキャッシュ・フロー計	△3,444	△102,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	100,000
自己株式の処分による収入	356	-
自己株式の取得による支出	△15,447	△42,211
配当金の支払額	△14,371	△21,426
リース負債の返済による支出	△1,327	△1,196
その他	△167	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー計	△30,956	34,966
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,581	3,585
現金及び現金同等物の純増減額(△は減少)	10,870	73,158
現金及び現金同等物の期首残高	262,544	339,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	273,414	413,124

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、テストシステム製品群とテストハンドラやデバイスインタフェース等のメカトロニクス関連製品群の製造・販売を主な事業内容とし、その他にこれらに関連する研究開発及び保守・サービス等の事業活動を展開しております。

当社グループは報告セグメントと事業セグメントを同一の区分で管理しており、これらの報告セグメントは、製品と市場の性質に基づいて決定され、経営者が経営意思決定のために使用する財務情報と同様の基礎情報を用いて作成されております。

テストシステム事業部門は、SoC半導体デバイス向けのSoCテストシステム、メモリ半導体デバイス向けのメモリテストシステム、半導体デバイスをハンドリングするメカトロニクス応用製品のテストハンドラ、被測定物とのインタフェースであるデバイスインタフェースなどの製品群及び半導体やモジュールのシステムレベルテストのソリューションを事業内容としております。

サービス他部門の内容は、上記の事業に関連した総合的な顧客ソリューションの提供、ナノテクノロジー関連の製品群、サポート・サービス及び消耗品販売等で構成されております。

2. 報告セグメントに関する情報

当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

株式報酬費用は、主に譲渡制限付株式報酬の費用であります。

報告セグメントの利益(△損失)は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。

セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	テスト システム事業	サービス他	消去又は 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	240,554	23,222	-	263,776
セグメント間の売上高	-	-	-	-
合計	240,554	23,222	-	263,776
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	126,925	2,706	△4,616	125,015
(調整)株式報酬費用	-	-	-	△1,063
営業利益	-	-	-	123,952
金融収益	-	-	-	693
金融費用	-	-	-	△3,288
税引前四半期利益	-	-	-	121,357

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位:百万円)

	テスト システム事業	サービス他	消去又は 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	333,562	33,911	-	367,473
セグメント間の売上高	-	-	-	-
合計	333,562	33,911	-	367,473
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	190,722	8,563	△7,944	191,341
(調整)株式報酬費用	-	-	-	△1,351
営業利益	-	-	-	189,990
金融収益	-	-	-	44,680
金融費用	-	-	-	△588
税引前四半期利益	-	-	-	234,082

- (注)1. 全社に含まれるセグメント利益(△損失)への調整は、主として全社一般管理費及び事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. 前第1四半期連結累計期間におけるサービス他のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益2,504百万円が含まれております。
3. 当第1四半期連結累計期間における金融収益には、戦略投資に関連する金融商品の評価益41,075百万円が含まれております。